

京都府流域下水道事業経営審議会第2回調査部会（開催結果）

- 1 日 時 令和4年8月23日（火） 午後3時～午後4時15分
- 2 場 所 ホテルルビノ京都堀川 アムールの間
- 3 出席者 委 員 田中部会長、藤木委員、吉澤委員（3名中3名出席）
宇治市（参考人） 山田上下水道部長、塚本下水道計画課長 他
京都府 市田建設交通部技監、岸田流域下水道事務所長
長谷川水環境対策課長 藤原水環境対策課参事 他

4 結果概要

- 宇治市水量増加について、第1回部会で委員より出された課題を確認・意見交換したが、議論をより深めるため、追加の課題が提示された。

5 主な委員意見

- ・年度ごとの降雨強度の違いを調べ、宇治市の水量増加に影響していないか確認すること。
- ・雨天時の流量増加により正確な計測が出来ない範囲（計測限界）を検証するため、さらにデータ分析して水理学の専門家に再確認すること。
- ・現在の計測限界の範囲を超え推計値を採用すると仮定した場合の年間流量への影響度合いを確認すること。
- ・水道使用量減少の一方、下水使用量は増加という市の説明に対し、定量的にその関係が説明できよう情報を整理すること。
- ・宇治市排水量の増加について、接続戸数の増加だけでなく、大規模事業場の増加なども影響していないか確認すること
- ・雨天時浸入水について、対象とすべきものが他にないか精査すること。